

3-(1) ミッション・コミットメント

学校法人ノートルダム女学院では、建学の精神である「徳と知」をよりわかりやすく4つの行動で表し、ミッション・コミットメントとしている。

「ノートルダム」はキリストの母、聖母マリアのことです。

「ノートルダム」を校名にいただく私たちは、「徳と知」の精神のもと、聖母マリアにならって、人としての成長を目指します。

『尊ぶ』人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合います。

『対話する』心をこめて聴き、かかわりから学び、真理を探究します。

『共感する』心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持ちます。

『行動する』対話し、決断し、責任を持って人々の幸せと世界平和のために行動します。

神への深い信頼が聖母マリアをこのような生き方へと導きました。

私たちも、人間を超える大きな力に支えられている確信が持てますように。

3-(2) 教育理念と建学の精神

1. 基本理念 京都ノートルダム女子大学学則 第1条・第2条

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、深く専門の学芸を教授研究するとともに、カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成して我が国文化の推進に寄与することを目的とする。

2 本学は、その目的の実現のため、教育、研究活動を通じて社会との連携を深めるとともに、社会の発展に寄与するものとする。

第2条 本学に人間文化学部及び現代人間学部を置く。

- (1) 人間文化学部は、言語・歴史・文学・思想・芸術・倫理・宗教など、人々の生活形成の様式と内容の総体である「文化」という視点から、「人間」存在の意味やその営為のありさまを学際的に学び、文化の多様性を理解し、異文化に対する寛容な国際感覚を身につけ、幅広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
- (2) 現代人間学部は、人間やその生活、社会、自然に対する総合的な理解に基づく実践的な能力を身につけた人材を養成するため、学際的な学びを深め、専門知識の向上に相乗効果を発揮させた総合的な教育研究を行うことを目的とする。

2. 建学の精神

京都ノートルダム女子大学は、キリスト教精神による女性の教育と「徳と知（Virtus et Scientia）」を兼ね備えた女性を育成することを建学の精神としている。

「徳」とは、倫理観を基本に人々のために十分行き届いた行動をすること、つまり善の行為ができる人に備わるものである。また「知」とは、社会のリーダーシップをとるに必要な高度な知識を指す。深い倫理観を身につけ、人々に対して常に配慮のある態度や振る舞いで接する能力を持つ人は、美德の人として尊敬される。

本学はこれをモットーとして、「徳と知」を備えた全人的な人間形成を目指す教育を行っている。

3-(3) ND6

ミッション・コミットメント、全学の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、卒業（学位授与）時に身につけておくべき力を設定している。

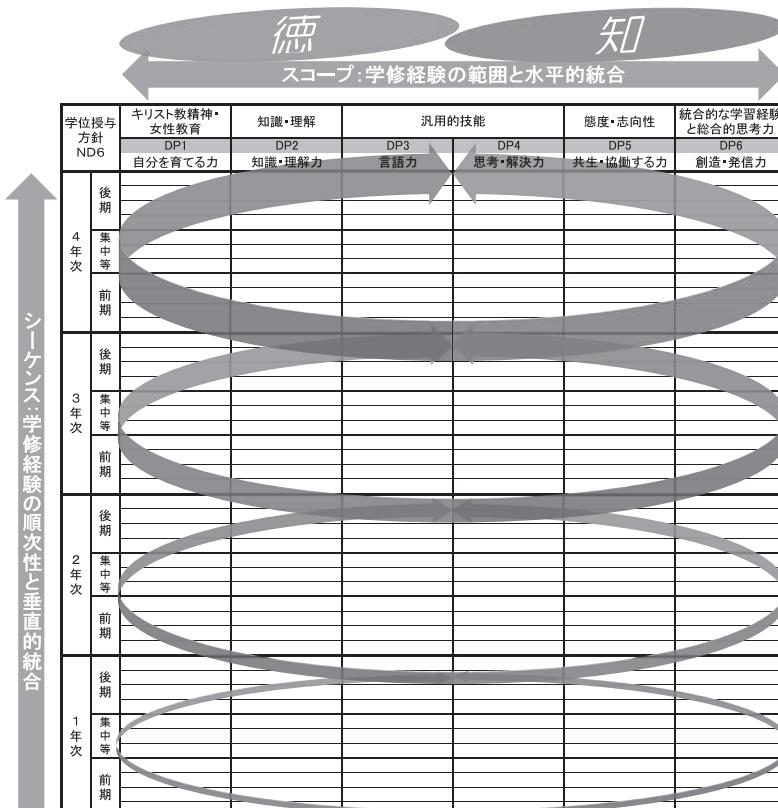
ND6は、「3つの方針」（11頁参照）をはじめ「カリキュラム・マップ」（10頁参照）や「コースナンバー」（17頁参照）にも示されており、履修する科目でどのような力が身につくのかを知ることができる。

キリスト教精神・女性教育	DP1: 自分を育てる力
知識・理解	DP2: 知識・理解力
汎用的技能	DP3: 言語力 DP4: 思考・解決力
態度・志向性	DP5: 共生・協働する力
統合的な学習経験と総合的思考力	DP6: 創造・発信力

3-(4) NDカリキュラム・マップ

「ND6」を基に、縦軸を「シーケンス」、横軸を「スコープ」として各科目を座標上の1箇所に位置づけ、科目の体系性・連関を可視化したものが「NDカリキュラム・マップ」である。

このマップを用いることにより、目標とする学修成果に向かう道筋を鳥瞰しながら、現在地を客観的に把握することができる。なお、各学科のマップは、それぞれの「授業科目の履修・登録」頁に掲載している。



3-(5) 京都ノートルダム女子大学 3つの方針

本学では以下のとおり、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を定めている。また、これらの方針のもと、主体的に学び、研究を深める意欲のある入学者を受け入れるために、次のとおり全学および各学部学科において入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を設定している。

全学共通部分（参考：学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」）

目指すべき人材像	4年間で育てたい力（ND6）	ディプロマポリシー（学位授与方針）	カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）	アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育 DP1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて他者と自分を尊ぶ全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した女性として健康に生きていく態度を身に附けている。	共通教育科目では、キリスト教精神に基づき全人の「常識」と「良識」を育てるためのベースとなる「カトリック教育」に関する科目を1・2年次に配置し、必修および選択必修を合わせて5単位以上とする。さらに、自立・自律した女性として健康に生きていく態度を身につけるための「女性」および「健康」に関する選択科目を配置する。	(期待する能力) 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。 (選考方法) 面接、自己記入書、書類における進路指導・道徳教育の記録
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解 DP2. 知識・理解力	人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養、それを基にさらに新しい事柄を理解する力を身に附けている。	共通教育科目では、幅広い知識と教養を身につけるため「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」の3領域からなる教養科目を配置し、各領域2単位以上を選択必修とする。 (さらなる専門的知識とその理解力を養うため、各学部学科の専門領域の概論等に関する科目を配置する。)	(期待する能力) 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識力と理解力をもとうとする。 (選考方法) 書類、学力試験、小論文
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国语を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能 DP3. 言語力 DP4. 思考・解決力	国籍や言語の異なる人々と共に生きていくために必要な、日本語および外国语でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身に附けている。 現代社会のさまざまな課題に対して、分析、情報処理を行い、批判的、論理的な思考によって解決しようとする力を身に附けている。	共通教育科目では、言語コミュニケーションスキルと読み書き能力を育成するため、1年次から3年次にかけて、英語および他の言語についての科目を継続的に学べるように段階的に配置する。特に1～2年次では英語、英語以外の言語とともに週2回授業を行ない定着を図る。 (さらに、専門性に応じた言語力を育成するため、各学部学科の専門教育科目を配置する。)	(期待する能力) 高等学校卒業程度の国語力をもち、英語などの外国语で読み、書き、聞く、話そうとする。 (選考方法) 書類、資格、学力試験、小論文、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	DP5. 共生・協働する力	さまざまな他者と共に生・協働するために必要な力を身に附けている。	共通教育科目では、情報処理の基礎を学ぶため1年次必修の「情報演習Ⅰ」のほか、批判的・論理的な思考を身につけるための選択科目を配置する。 (現代社会のさまざまな課題を解決するための思考力・問題解決力を育成するため、各学部各学科の専門教育科目を配置する。)	(期待する能力) 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもつて、自らの考えを評価・修正できる柔軟さをもとうとする。 (選考方法) 面接、自己記入書、学力試験、小論文、書類
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれたり人々を含む、さまざまな人々と共に生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性 DP6. 共生・協働する力	さまざまな他者と共に生・協働するため必要な力を身に附けている。	共通教育科目では、さまざまな他者と社会の中で共生・協働するために必要な力を身につけるため、「ボランティア」に関する科目等を配置している。 (さらに必要な知識や理論を学べるように、各学部共通科目や各学科の専門教育科目に多くの科目を配置している。)	(期待する能力) 人と協力してともに問題解決をしようとする意欲をもち、集団での活動経験（部活動、課外活動、ボランティアなど）を活かし、様々な学習に能動的に参加しようとする。 (選考方法) 自己記入書、面接、書類
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と 統合的な思考力 DP6. 創造・発信力	総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信することができる。 (専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信することができる。)	共通教育科目では、実践的に自らの学習成果を社会で活かす力を身につけるため、「インターンシップ」などライフキャリア形成に関する科目を配置する。 (さらに各学部学科の専門教育科目では、4年間の学修成果をまとめ、創造的に発信する力を育成する卒業研究等の科目を配置する。)	(期待する能力) 自らが学習したことと他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。 (選考方法) 面接、プレゼンテーション、書類、学力試験、小論文

人間文化学部 英語英文学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育 DP1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づく共感能力と幅広い教養に支えられた女性としての自立心を備え、国際社会における自身の役割を獲得する力を身につけている。	キリスト教精神に基づいた女性としての自立心を備えると共に、国際社会に対応できる力を養うための基盤科目として、専門基礎科目からは「英語キャリア戦略」を、専門基幹科目からは「英語英文学基礎演習」を1年次に配置する。また、キリスト教精神に基づくホスピタリティを養うための専門関連科目を1、2年次に渡り配置する。	〔期待する能力〕英語という言語に関心があり、同時に英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーションに幅広く関心を持っている。 〔選考方法〕面接、自己記入書、書類
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解 DP2. 知識・理解力	英語圏の文化、社会、言語、コミュニケーションについての幅広い知識と深い理解を身につけ、これらを基に、国際社会でのインテラクション（相互作用）能力を涵養する素地を身につけている。	英語圏の文化及び言語・コミュニケーションについての多様な侧面をバランス良く学び、文化、社会、言語についての幅広い知識と教養を身につけるため、専門基幹科目から英語圏文学、言語、コミュニケーション各領域概論科目を中心にして、1、2年次中心に配置する。加えて、英語教育関連科目を1～4年次に渡り配置する。	〔期待する能力〕英語圏の文化や文学に関心があり、高校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 〔選考方法〕書類、自己記入書、学力試験、小論文
グローバル化の時代に対応し、外国语および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国语を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能 DP3. 言語力 DP4. 思考・解決力	様々な国籍と文化背景の人々と、英語を介してインテラクション（相互作用）できる言語能力を身につけている。グローバル化社会で共生するための、異文化理解に基づいた社会的言語能力を身につけている。 現代社会、特に国際社会において直面する多種多様な情報問題、課題に対して、適切な情報選択、批判的分析、論理的かつ効果的な意思決定を行う力を身につけている。	グローバル化社会に対応する形での、英語を媒介言語としたコミュニケーション力を養うため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各領域における専門展開科目の中からグローバル英語コース関連の科目及び、コミュニケーション領域における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。 現代社会における課題に論理的思考力をもって柔軟に対応できる力を身に付けるため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各領域における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。	〔期待する能力〕高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。 〔選考方法〕面接、書類、学力試験、資格
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	態度・志向性 DP5. 共生・協働する力	異文化間で価値観が交錯する国際社会で他文化の人々と協働するにあたり、ステレオタイプや偏見、自己文化中心主義といった自己傾向を理解し、これを克服して、多文化コミュニティ（共同体）形成に貢献できる力を身につけている。	世界の国々における各文化、社会の多様な侧面を深く学ぶとともに、自ら設定したテーマに基づき調査、研究する力を身につけるため、各領域の専門性を高めることを目的とした英語英文学演習（ゼミ）、海外留学事前事後指導を中心科目として3年次に配置する。加えて、エアラインプログラムを中心とするキャリア教育科目を1～4年次に渡り配置する。	〔期待する能力〕母語のみならず英語で他者とコミュニケーションをとり、協力・協働するよう努めることができる。 〔選考方法〕面接、自己記入書、書類
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共に生きていくことに貢献する力を身につけた女性	統合的な学習経験と総合的思考力 DP6. 創造・発信力	英語圏を中心とする国際社会における文化、社会、言語、コミュニケーションについて、その背景にある仕組みや問題を洞察することができ、これを分析・解決するための専門知識と方法論を身につけている。また、分析・解決策を社会やコミュニティに対して貢献できる形で発信する力を身につけている。	国際社会における文化、社会、言語、コミュニケーションの諸問題に対し、自ら設定した問い合わせに対する回答・提案を正しく発信できる力を養う。英語英文学演習で身につけた知識を正しく用い、問題を分析・解決する力を身に付けるための最重要科目として、卒業研究を4年次に配置する。	〔期待する能力〕英語という言語、英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーション、教育に関して自分の意見を持ち、何らかの媒体を用いて、社会に発信することに関心がある。 〔選考方法〕面接、自己記入書、書類
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性				

人間文化学部 人間文化学科

自指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育 DP1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、自立・自律した女性として社会に貢献できる資質を身につけている。	キリスト教精神や女性の生き方についての学びや現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶことに加え、専門科目として「典礼音楽特講」「キリスト教とラテン語ⅠⅡ」「哲学とキリスト教」を配置する。	〔期待する能力〕世界の諸国や日本の文化・言語について学ぶ意欲があり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりの中で、自己の人格を高めることに興味・関心があり、努力しようとしている。 〔選考方法〕面接、自己記入書、書類
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解 DP2. 知識・理解力	「日本語と日本文化」「多文化理解」「芸術と思想」「読書と情報の文化」の4領域にわたる基礎知識、国際的な広い視野と教養をもち、深く考察できる技能を身につけている。	専門科目として「日本語と日本文化」「多文化理解」「芸術と思想」「読書と情報の文化」の4領域から多彩な教養の学びとして知識・理解に関する科目を配置する。	〔期待する能力〕世界の諸国や日本、およびその文化や言語について関心を持ち、高等学校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。 〔選考方法〕書類、自己記入書、資格、学力試験、面接
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国语を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能 DP3. 言語力 DP4. 思考・解決力	多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を人文学的観点から対応するための日本語および外国语でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけています。 現代社会のさまざまな課題に対して、人文学分野の情報を収集・分析する技能と論理的な思考力を身につけている。	共通教育科目で学ぶ、世界の様々な言語の学修に加え、専門科目で書き言葉・話し言葉の両面でコミュニケーション力および社会人として求められるプレゼンテーション能力を身につけられる関係科目を配置する。	〔期待する能力〕高等学校卒業程度の国語力を持ち、書き言葉、話し言葉の両面でコミュニケーション力に磨きをかけることに関心を持っている。 〔選考方法〕書類、自己記入書、資格、学力試験、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	態度・志向性 DP5. 共生・協働する力	さまざまな他者と共生・協働するために必要な書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力および社会人として求められるプレゼンテーション能力を身につけている。	専門科目にウェブデザイン、フィールドワークなど「人間文化」としての思考・解決力を身に付けるための科目を配置する。	〔期待する能力〕世界の諸国や日本の文化・言語に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探求するための文献調査や情報検索の方法について、ある程度習得している。 〔選考方法〕書類、自己記入書、資格、学力試験、面接
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性 DP6. 創造・発信力	さまざまな他者と共生・協働するために必要な書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力および社会人として求められるプレゼンテーション能力を身につけている。	多様な社会の中で人々と共生・協働するために必要な力を学ぶため、専門科目として「日本語コミュニケーションⅠⅡⅢ」「キャリアとコミュニケーション」「昔話とストーリーテリング」「識字活動と子どもの権利」を配置する。	〔期待する能力〕他者とのコミュニケーション力があり、他者と協力・協働して、社会への貢献を行うことができる。 〔選考方法〕書類、自己記入書、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力 DP7. 創造・発信力	学習経験と専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み新たな価値を創造する能力、諸問題に対して適切に判断・対処する力を身につけている。	1年次の「基礎演習」、2年次の「発展演習」、3年次の「専門演習」、そして4年次の「卒業研究」において自らの学習の成果をまとめ、創造的に発信する力を育成する。	〔期待する能力〕世界の諸国や日本の文化・言語に関する企画や研究・制作を行い、出版や情報に関する技術を用いて、社会に発信することができる、もしくは発信することに関心がある。 〔選考方法〕書類、資格、学力試験、面接

現代人間学部 福祉生活デザイン学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND 6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育	D P 1. 自分を育てる力 自己研鑽への態度 キャリア形成意欲	より良い生活や地域社会の実現に貢献するため、自己研鑽に努めることができる。 職業生活や家庭生活、個人の生活を総合的にとらえ、ワークライフバランスを実現して充実した人生を築いていく力を身につけている。	共通教育科目的「カトリック教育」および「女性」「健康」に関する選択科目により、キリスト教精神に基づく全的な「常識」と「良識」、さらには自立・自律した女性として健気に生きていく態度を身につけながら、社会に貢献していくよう自分の見識、能力を高めるための意欲や学びの技術、学修への態度を養成するため初年児教育としての「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」を1年次前期に配置するとともに、それを受けた現代生活の基本的スキルや地域・企業の現場体験を通じて自己のキャリア形成意欲を高めるため、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ」(1年次後期)、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ」(2年次前半)を順次配置する。さらに3年次に配置された「福祉生活デザイン特論」の中で自己の描くキャリアを具体化させていくための知識、態度を養成する。 【期待する能力】社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。 【選考方法】面接、自己記入書、書類、筆記
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけて、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	D P 2. 知識・理解力 知識・技能の獲得 力課題認識と理解	衣食住や家族、福祉に関する幅広い知識・技能を身につけている。 家族や個人の暮らしに潜在する課題を理解し、社会的対応の必要性を認識できる。	現代社会に福祉を前提とした生活の基本的な知識や考え方を理解するために、衣食住、家族、福祉に関する基礎科目5科目を1年次に配置する。同時に基礎的知識を裏付けるため、福祉を含めた生活の基礎的技術や地域や福祉、企業等の現場を体験する「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」「福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ」を配置する。そのうえでさらなる生活や福祉の専門的知識を身に着けるために展開科目、関連科目の専門科目群を配置する。 【期待する能力】入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、家族や個人の暮らしに必要な衣食住、福祉について、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。 【選考方法】学力試験、小論文、筆記、書類
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国语を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	D P 3. 言語力 言語活用力・コミュニケーション力	相手の立場を考えながら、場に応じて適切なコミュニケーションができる力を身につけている。	共通教育において多言語に関する能力を養いながら、社会問題に関して議論する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」)、特定テーマについてグループでコミュニケーションをはかりながら協同で探究する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ」)などの目的で必修科目を配置する。 【期待する能力】学んだ知識や技術を用いて、積極的に他者と関わるということに関心がある。 【選考方法】面接、自己記入書、書類、筆記
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		D P 4. 思考・解決力 クリエイティブ思考 問題解決能力	生活のあり方や生活課題の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につけている。 身に着けた衣食住や福祉の専門的な知識と技術を自他の生活課題を解決するために活用できる。	専門基礎科目(1年次必修 5科目)で身につけた基礎的知識を基盤に、単なる知識にとどまらず、生活とその支援をめぐる諸問題について、課題の本質を見極め解決に向けた考え方や方策を見出させる力を養うことを目的とした「展開科目」を衣食住、福祉の各分野で配置する。 【期待する能力】生活や福祉に関心を持ち、身につけた知識や技能を、生活をより良くするために役立てる力を身につけたいと思っている。 【選考方法】面接、自己記入書、書類、筆記
他者に心を開き、社会で不利な立場に置かれた人々を含む、さまざまな人々と共に協働する力を身につけ、すべての人が幸せいきくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	D P 5. 共生・協働する力 共感する力 協働する力	他者に共感でき、生活困窮者に寄り添う態度が身についている。 地域や福祉の現場で他職種と協同しながらかかわる支援者としての技術を身につけている。	地域の生活や福祉の現場、企業活動の最前線で体験し共感(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ」)したことを元に、特定テーマを立てて共同研究、共同発表する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ」)ため、2年次必修の基幹科目群を配置する。それを引き継ぎ、共感、協働の場として「展開科目」「関連科目」に生活や福祉に関わる実習科目を配置するとともに、専門ゼミで各専門分野に関わる課題の現状に触れ、ゼミ単位で協働の機会をもつために3年次に「福祉生活デザイン特論」を配置する。 【期待する能力】周囲と協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。 【選考方法】面接、自己記入書、書類、筆記
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	D P 6. 創造・発信力 情報収集・発信力 創造力	自他の課題解決のための情報収集ができ、必要に応じて発信やプレゼンテーションができる。 身につけた知識や技術を活用し、生活をめぐる新たなこと、物を作り出していく力を身につけている。	情報収集、発信のための知識や技術を修得し、さら身に着けた知識や技術を活用して新たな提案や作品を行うために、1年次から4年次わり、基幹科目から専門演習・卒業研究までの必修科目群を配置する。 【期待する能力】より良い生活の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。 【選考方法】面接、自己記入書、書類、筆記

現代人間学部 心理学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神教育 女性教育 自分を育てる力	D P 1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、社会の安寧と人々の幸福の実現に貢献できる態度を身につけている。	共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方にについての学びに加えて、現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶ、現代人間文化学部共通科目を1年次に配置する。 〔期待する能力〕豊かな人間性、および、自己成長への意欲と他者の理解や奉仕の精神を備えている人。 〔選考方法〕面接、自己記入書、書類における進路指導・道徳教育の記録
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	D P 2. 知識・理解力	心理学およびその関連領域についての基礎知識、およびそれを基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。	専門展開科目として、「基礎心理」「生涯発達心理」「社会・産業心理」「臨床心理・精神医学」の4領域の知識・理解に関する科目を、さらに専門関連科目として、「精神保健福祉」「社会・ビジネス」の知識・理解に関する科目を配置する。 〔期待する能力〕心理学およびその関連領域について知識や技能を習得し、科学的分析と深い人間理解に基づいて、現代社会の要請に応じた実践的問題解決能力や産業界で活躍できる力を身につけたい人。 〔選考方法〕書類、学力試験、小論文
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国语を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	D P 3. 言語力	多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を心理学的視野から解決へと導くために、日本語および外国语でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	共通教育科目で学ぶ、世界の様々な言語の学修に加え、専門基礎科目に、心理学専門の英語と日本語の理解・活用に関する科目を配置する。 〔期待する能力〕さまざまな文化背景をもつ人々や社会に対して、純粋な関心と偏見なく理解する姿勢を持ち、母語や外国语によるコミュニケーションを通じた心の理解への意欲を持っている人。 〔選考方法〕書類、資格、学力試験、小論文、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		D P 4. 思考・解決力	現代社会のさまざまな課題に対して、人間の心と行動に関する情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。	専門基礎科目に、心理学研究法、心理統計、心理実験、心理テストなど心理学的な思考・解決力を身につけるための科目を配置する。 〔期待する能力〕人間の思考や行動、人間関係や社会構造に興味を持ち、心理学への学習意欲や問題探求心に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意がある人。
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共に生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	D P 5. 共生・協働する力	一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、病児・者、障がい児・者を含むさまざまな人々とコミュニケーションを図り、理解を深め、協働することができる実践力を身につけている。	社会で不利な立場におかれたり人々を含むさまざまな人々の心理を理解し、心理カウンセリングや社会・ビジネス心理の観点から、人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を、専門展開科目および専門関連科目に配置している。 〔期待する能力〕人の個別性を理解・尊重し、ともに成長とともに生活する姿勢を備え、現代社会に生きる人々が抱える心理的諸問題の解決と支援に貢献したいと考える人。 〔選考方法〕自己記入書、面接、書類
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	D P 6. 創造・発信力	専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、得られた分析結果から新たな価値を創造する力、および心の諸問題に対して適切に判断し対処する力を身につけている。	心理カウンセリングや社会・ビジネスのフィールドでの研修を行い、実践的に自らの学修成果を社会活動に位置づける科目や、心理学の学修成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる、心理学演習、卒業研究等の科目を配置する。 〔期待する能力〕心理学の学びを通して、現代社会における諸問題について、新たな発想での気づきや提案をしていく意欲のある人。 〔選考方法〕面接、プレゼンテーション、書類、学力試験、小論文

現代人間学部 こども教育学科

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・教育 自分を育てる力	D P 1.	キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を養うとともに、教育者として、職業的役割を自覚し、子どもの教育に貢献できる態度を身につけている。	キリスト教精神や女性の生き方についての学びや現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶことに加え、学科専門科目として「教師論」、「保育者論」を設置する 〔期待する能力〕 教育や保育に携わる人間として、関連する知識や技能を習得するのみならず、良好な人間関係を築き、また、築かせることのできる人。 〔選考方法〕 面接、自己記入書、書類における進路指導・道徳教育の記録
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解 知識・理解力	D P 2.	教育や保育、およびその関連領域についての基礎知識、およびそれを基にさらに新しい教育や保育に関する事柄を理解する力を身につけている。	専門基礎科目として、「こども教育基礎演習」、「子ども教育フィールド演習」、「教育原理」、「保育原理」、「特別支援教育基礎理論」等の教育・保育に関する基礎的科目を配置する。 〔期待する能力〕 多くの学問や人間と関わり、積極的に他者を理解しようとする人。 〔選考方法〕 書類、学力試験、小論文
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	D P 3. 言語力	教育や保育領域のグローバル化、また、日本語を母国語としない子どもや家庭に対して、日本語および外国语でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	共通教育科目で学ぶ、多様な言語の学修に加え、小学校科目群に小学校英語教育、学科共通科目群にこども英語教育などを配置する。 〔期待する能力〕 一人ひとりの言語力の相違に気付き、一人ひとりの個性に応じた対応をしようとする人。 〔選考方法〕 書類、資格、学力試験、小論文、面接
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		D P 4. 思考・解決力	教育や保育に関するさまざまな課題に対して、情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。	各教科の指導法、また、保育内容等の科目を設置し、教育や保育における問題場面において、知識・理解をもとに、問題解決する力を育てる。 〔期待する能力〕 自分の考えだけでなく、人の考えを聞き、また深く考え、問題があつても解決しようとする力のある人。 〔選考方法〕 面接、自己記入書、学力試験、小論文、書類
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれたりの人々を含む、さまざまな人々と共に協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性 共生・協働する力	D P 5.	教育や保育場面で関わる全ての人たちと、よりよい子どもの成長を支えるために、共生・協働する力を身につけている。	教育、保育の対象である子どもの中には、さまざまな特性を持った子どもがいる。また、さまざまな価値観を抱く保護者などもある。さらには、教育、保育の現場では連携・協力なども求められることから、それらの人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を配置する。 〔期待する能力〕 学習活動に参加し、共生し協働しながら困難に立ち向かうことで何かを成し遂げようとする人。 〔選考方法〕 自己記入書、面接、書類
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力 創造・発信力	D P 6.	教育や保育に関する自らの疑問や課題に基づき研究に取り組み、客観的な分析を通して、教育や保育の諸問題について、適切に判断する力をみにつけている。	3年次、4年次の教育実習、その後の、教職実践演習、保育・教職実践演習、さらには、卒業論文等で、自らの学習について成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる。 〔期待する能力〕 様々な想像をし、意見を交換することで、更に想像力を発揮できる人。 〔選考方法〕 面接、プレゼンテーション、書類、学力試験、小論文